

# やつしろ 市議会だより

平成21年6月定例会



▲SL人吉（坂本町：球磨川第1橋梁）

## 《主な記事》

○6月定例会見出し	…	2
○一般質問	…	3
○傍聴案内	…	6
○委員会報告	…	7
○請願・陳情について	…	10
○市議会の役割	…	11
○6月定例会審議結果一覧	…	12

## 第16号

平成21年8月1日発行

編集・文責  
八代市議会  
広報編集委員会

☎ 0965-32-5984  
(市議会事務局)

# 一般会計補正予算 二十二億七千百二十万円

## 一般会計補正予算の主な事業概要

### ◆消費者行政事業

増加する振り込め詐欺や多重債務相談等に対応する相談窓口のより一層の充実を図るため、県消費者行政活性化基金活用事業補助金を活用し、消費者生活センターの設置等の事業を展開するもので

- ◎消費者行政事業 (二百九十八万四千円)
- ◎自治総合センター「コミュニティ助成事業助成金」 (一千九百十万元) (一千九百十万元)
- ◎火災報知器支給事業 (六千万元)
- ◎インフルエンザ予防接種委託事業

(一千九百二十一万二千円)

など



### 議案・陳情など三十一件を議決

- ◆自治総合センター「コミュニティ助成事業助成金」  
コミュニティセンター建設・公園整備・伝統芸能保存に対して財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業に採択されたことに伴い補正を行います。

### ◆火災報知器支給事業

高齢者・障害者の在宅する世帯に対し、火災報知器を一世帯に一個支給するものです。

- ・七十五歳以上の高齢者が在宅する世帯
- ・障害者が在宅する世帯

### ◆インフルエンザ予防接種委託事業

インフルエンザの発生を抑制し、重症化を防止するとともに、インフルエンザ予防に対する市民の意識啓発の一環とするため、三歳から十五歳までの子供に対し、予防接種一回につき、二千円の助成を行うものです。

最終日の十九日は、各委員長報告の後、議案二十七件を可決、陳情二件のうち、一件を採択、一件を不採択。また、同日市長から追加提案の人事案件二件を同意して、十九日間の会期を閉じました。

付議事件、一般質問、審査の概要などは、次のとおりです。

一般

質問

中心市街地活性化への対応

経済

## 八代港の港湾問題について

田中 安

八代港港湾整備事業が今後の補正予算で大幅に追加されが、その概要と市の負担について問う。また、世界同時不況の影響による貿易量の低下率と県補正予算での荷主企業への緊急助成の内容、ポートセールス協議会の事業計画を問う。（ほかに新開分署移転問題について質問あり）

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、六月八日から十一日までの四日間、十三人が通告・登壇し、幅広い、活発な論議が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとあります。



**問** 市長の四年間の対応とこれから対策を問う。（ほかに係長職昇任資格試験、人事異動について質問あり）

**答**

市長 中心市街地の活性化については、市政の重要な課題であると認識しており、市長に就任した翌年に中心市街地活性化基本計画策定の指示を行い、全国で三番目に認定を受けた。認定後の二年間で進捗率は約八十八%と円滑に実施されている。これまでに大型商業ビル開発や歩道のバリアフリー化など目に見える通り、中心市街地は変わってきた。今後は、歴史と文化を生かした趣と品格のあるまちづくり、都市機能を生かした便利で安全なまちづくりに取り組んでいきたい。



**問** 八代港の港湾問題について

業及び国庫補助事業で総額三十四億円もの予算措置がなされるが、市の負担金は大幅に軽減され、通常の負担額からさらに十分の一となる。八代港の一月から四月までの貿易総額は世界的に不況により、前年比で三十二%の減少。県では八代・熊本港の国際コンテナ貨物量減少に歯止めをかけるため、緊急助成として総額一億円を盛り込んでいる。また、協議会では既存の助成制度等も活用し、官民一体となつたボートセールス活動を積極的に推進する。

## 行政

問

定額給付金について

太田 広則

本市においても、定額給付金が四月二十三日より給付が始ままり、多くの市民の皆様から、「やつぱりもらうとうれしい」との声が相次いでいる。現在での給付事業の総括と今後のDV被害者に対する市の救済策の考え方を問う。（ほかに活字文書読み上げ装置導入、可燃物ごみ集積所問題について質問あり）

今後検討したい。  
なお、DV被害者への救済策は

企画振興部長・健康福祉部長 二月三日に定額給付金給付事業推進室を立ち上げ、三月三十日に対象となる世帯主あてに申請書を発送し、四月一日より受け付けを開始した。受け付けに際しては、本庁、各支所と奈久出張所に平日の常設窓口を設置するとともに、四月十二日の日曜日に臨時窓口を各公民館等二十カ所に設置した。四月二十三日の一回目の給付以後、週一回のペースで振り込みを行い、六月八日給付分まで含めると約九十五%の手続を終えている。

商工観光部長 国の直轄事業及び国庫補助事業で総額三十四億円もの予算措置がなされるが、市の負担金は大幅に軽減され、通常の負担額からさらに十分の一となる。八代港の一月から四月までの貿易総額は世界的に不況により、前年比で三十二%の減少。県では八代・熊本港の国際コンテナ貨物量減少に歯止めをかけるため、緊急助成として総額一億円を盛り込んでいる。また、協議会では既存の助成制度等も活用し、官民一体となつたボートセールス活動を積極的に推進する。

## 津口・芝口地区の基盤整備

古嶋 津義

問 津口・芝口地区は、幹線の排水路は整備されたが、圃場内の排水路は未整備で、道路についても幅員が狭く、いまだに砂利の道路が残っている状況である。農作業の効率化を図るには、ほど遠い環境にある。農業基盤整備事業により、短期に整備し、経営の安定化を図ることが急務であると考えるがいかがかと思う。

答 農林水産部長 津口・芝口地区の基盤整備については、総合的かつ集中的な整備を図るために、県営経営体育成基盤整備事業で取り組みたいとの意向で、県に提出している農業農村整備事業管理計画に計上したところである。

事業の採択には、基礎調査や事業効果の算定、土地改良法による事務手続など三カ年の期間を要するが、地元の皆様と十分協議しながら進めていきたい。

また、農地集積率に応じて地元負担が軽減される新たな事業制度にも積極的に取り組んでまいりたい。



## パナソニックの工場閉鎖問題

笹本 サエ子

問 パナソニックは雇用を確保するとしながら、労働者を「必要人員」「余力人員」と選別リストをつくり、広域配転計画をもとに、退職強要を迫っている。昭和五十五年、最高裁は「退職強要は労働者の自由な意思決定を妨げるもので、違法だ」と判断。六月までに転勤か退職を迫る企業への本市の対応策について問う。

答 市長 会社側には企業としての社会的責任のもと、従業員の雇用の場を確保することに誠意を持つて対応してもらいたい。

また、転勤の切実な悩みの相談を受け、生産終了時期の延期や従業員の意向確認時期の延期をお願いした。これに対し会社側からは、従業員の方々の意向に配慮して、当初六月末までの確認時期の延長を検討していると聞いている。

市としては、今後とも、従業員の方々の雇用対策に万全を期すよう、定期的な会合の場を活用し、会社側に要請してまいりたい。

## イ業振興について

成松 由紀夫

問 イ業振興について、これまでの事業に対する効果、問題点の認識、市における今後の考え方、QRコードつきタグの推進、補助事業の周知のあり方、異業種を含めたイ業振興プロジェクトなど、市はどう考えているのか伺う。（ほかに二学期制、地域総合型スポーツクラブ、八代市営新八代駅東口駐車場について質問あり）

答 農林水産部長 事業効果と

して、イグサ移植機などの導入により品質向上・コスト削減が、QRコードつきタグの普及推進により外国産との区別化が見込まれる。問題点は、畠表価格安定制度の期限延長、需要拡大対策、イグサ関連農機具対策であると認識している。今後、価格安定制度期限延長の政府要望、<sup>\*メルマガ等ITを活用したタグの普及推進、ハーベスターの試作機に対し努力していきたい。</sup>また需要拡大を目指し異業種を交えたイ業振興プロジェクトの設置等も検討したい。

※メルマガ：企業や個人などが、特定の読者に向けて電子メールで定期的に情報を配信するもの

## 福祉

祉

### 介護保険事業について

田中 茂

問 介護保険事業は三ヵ年を一事業期間として、平成十二年度からスタートし、今年度から平成二十三年度までは四期目となる。その事業の概要と介護保険料を第三期と同額に据え置いた経緯について問う。（ほかに肥薩おれんじ鉄道、学校職場の労働安全衛生管理について質問あり）

答 健康福祉部長 平成十二年

度から十七年度までは、介護サービスの利用が急速に伸びていたが、平成十八年度より予防重視型のシステムに大きく変わり、緩やかな伸びに転じている。平成二十一年度からの第四期も基本上には、現行のまま継続していくものと思われる。

介護保険事業における中期財政運営を行うために創設された「介護給付費準備基金」の残高から三億三千七百万円、介護従事者待遇改善のために国から交付された七千五百九十万円を活用し、保険料を据え置いた。

## がん対策について

飛石 順子

幸村 香代子

日本人の三人に一人ががんで亡くなっている。早期発見、早期治療の促進を求め、がん対策強化充実の署名活動を行つた。

本市のがん受診率向上の本年度の対策と課題、新経済対策で成立した「女性特有のがん検診推進事業」の内容等について伺う。（ほかに新市の行財政改革、消費生活センターについて質問あり）

答 健康福祉部長 受診率の目標値五十%にどのように近づけていくかが課題であり、今年度は特定健診とあわせて申し込めるよう申込用紙の内容を変更し、対象者に直接郵送する受診率向上対策を実施した。

さらに、国の追加経済対策の中の子育て支援策として、平成二十年度中に二十・二十五・三十五・四十歳になつた女性の方に子宮頸がんの、四十・四十五・五十・五十五・六十歳になつた方に乳がんの検診無料クーポン券と、がんについての正しい知識等を記載した手帳を配布する。



## 新型インフルエンザへの対応

矢本 善彦

建 設

日本国内で、新型インフルエンザの感染地域と感染者数が広がりを見せている。これまで、患者が発生した地域での状況と対応から、本市で発生した場合の課題と対策が検討されているものと考える。

特に、保育園の休園は、子供を預ける当てのない共働きの保護者が出ることが考えられる。その対応について伺う。

答 健康福祉部長 感染初期は、保育園で感染者が出た場合、県からの要請により一定地域の保育園が休業となる予定であるが、その地域内で保育園を選定し、限定期に保育を実施する方向で検討している。

また、感染の蔓延期には、設置者の判断で臨時休業となるが、当該保育園の保育士が自宅で子供を預かる態勢をとる方向で検討している。あわせて、ファミリーサポートセンターの提供会員やひとり親家庭等日常生活支援事業による預かりも活用したい。

二点目に、自主的な運営を行うサロンは全体の約六割である。自主的な活動ができるよう支援する必要がある。

三点目に、サロン会員に占める男性の割合は二十三%である。ひとり暮らしの男性の閉じこもり防止の観点からも、男性会員の加入促進を図る必要がある。

## 介護予防事業の現状について

竹田 誠也

緑の回廊線の活用について

十年目を迎えた介護保険は、高齢化に伴い介護給付も増大する傾向にある。その改善策としては、平成十八年度の制度改革で介護予防に重点を置いているが、その現状と高齢者の健康づくり、社会参加に大きく寄与しているいきいきサロン事業の課題について問う。（ほかに認知症に関する取り組みなどについて質問あり）

在で、二百四サロンが設置されているが、未設置地域や休止中のサロンがある。健康づくり、仲間づくり等を目的とした地域交流の場として、さらに新規サロンの設置に取り組む必要がある。

答 建設部長 「緑の回廊線」は、通勤・通学のほか、散策やジョギング等、広く市民に親しまれており、先行事例として他都市からも視察を多数受けている。現在、この回廊線との接続として、周辺部のメルシャン西側、ゆめタウン南側、ハーモニー・ホールから代陽公民館方面において、県や市でそれぞれに歩道整備に取り組んでいる。今後も、八代市中心市街地活性化基本計画も踏まえ、「緑の回廊線」と一体的な利用が可能な路線の整備計画を進める。

## 環境

### 生活環境の整備について

問

鈴木田 幸一

ごみの減量化対策に取り組まれているが、その現状と今後の取り組みを伺う。また、耐用年数を十四年も過ぎているごみ焼却施設に対する八代市ごみ問題等対策検討会の検討状況を伺う。（ほかに八代市男女共同参画計画、生活保護などについて質問あり）

答 市民環境部長 ごみ減量化の取り組みとして本年度は段ボール箱による生ごみ堆肥化キット二千セットを配布している。また、社会実験としてリサイクル推進協力店の認定を行い、古紙排出の利便性向上と回収量の増を図る。検討会の検討状況は、五月に委嘱状交付並びに第一回目の検討会を開催し、ごみの現状、環境センター基本構想等を委員に説明した。

今後の予定としては、先進地の視察研修を行い、本市における施設整備等のあるべき姿を具体化するための検討を進めたい。

### 温室効果ガス六%減について

問

八代市地球温暖化対策推進本部

年度を基準年度とし、平成二十一年四月から平成二十四年度までの五カ年間で、平均約五年以上の削減を掲げているが、具体的にどのような方法で温室効果ガスの削減を行うのか問う。

堀口 晃

答 市民環境部長 市の事務事業から発生する温室効果ガスの約七割が廃棄物処理施設や上下水道関係施設などから排出されているので、市民の皆様に排出ごみの分別指導、ごみの減量化などについて普及啓発を進めていく。

一方、市が主体的に対策をとれる事務事業から排出される温室効果ガスを六%削減するためには、電気の使用による排出を抑制するのが有効であると考えており、そのためには、職員の使用抑制のために、職員への啓発などを今後とも続けていく。

### 市議会(本会議・委員会)を 傍聴・モニターテレビでごらんになりませんか？

#### ◎本会議・委員会（モニターテレビにて）

市議会では、情報公開の一環として、本会議と委員会の会議の状況をモニターテレビ（29型テレビ）で放映しています。

モニターテレビは、市役所1階ロビーに設置し、本会議では画面を4分割し、2台同時に、また、委員会ではそれぞれの委員会ごとに放映しています。

なお、ゆっくりごらんいただけるように、放映場所には八代地域特産のイグサを使用した長いすを設置しています。

※インターネットでもごらんいただけます。



(市役所（本庁）1階ロビー)

#### ◎本会議（傍聴席にて）

本庁舎1階西側（八代宮側）に、市議会傍聴入り口があります。会議（本会議）を傍聴されたい方は、こちらからお入りください。

（車いすでいらっしゃる方、手話通訳を希望される方は、総合案内所か議会事務局へお申し出ください）  
傍聴人の定員は、42人（車いす席2人を含む）です。

※傍聴に際しては、幾つかの規程が定められています。  
係員の指示に御協力ください。



（本会議 傍聴入り口）

# 委員会報告

答 正確な団体数は把握しています。

問 本市における環境保全活動団体数について問う。

説明 地球温暖化対策や生活排水対策など自主的な環境保全活動を行う市民団体に対して補助を行ふもので、一団体十万円として、二十団体を予定している。

◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・環境保全活動団体支援事業について

## 建設環境委員会

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、総務委員会、建設環境委員会、文教福祉委員会、経済企業委員会の四つの常任委員会に付託され審議がなされています。また、今定例会においては、議会運営委員会にも陳情一件が付託され、審議がなされています。（特定の問題については、必要に応じて市議会の議決によつて設置される特別委員会において審査・調査されます。）

これらの委員会で審査・調査を行つた結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、六月十九日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・市内一円公園照明灯改修事業について

説明 本改修事業は、老朽化が進んでいる公園内の照明灯の建てかえを行うものであり、今回、八代城跡公園ほか三公園の十基分を計画している。

問 今回の照明灯建てかえに当たつての、エコ電灯の導入について問う。

答 今回の耐用年数が過ぎている既存のポールを建てかえることとしており、エコ対策は考えていらない。エコ電灯の導入については、現在建設中の日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」や水辺のプロムナード等への導入を検討したが、同じ照度を得るためにには約三倍から四倍の設置基数が必要なこと、エコ対応パネルが高額なこと、蓄電池関係の交換が必要となるなど、メントナンス的にも余りメリットがないような状況である。今後、さまざまな開発がなされていくのではないかと考えるので、情報収集を行いながら検討していく。

問 法人格を持つ団体も申請することは可能か問う。

説明 本事業については基本的に當利団体は除くことにしているが、NPO、いわゆる特定非當利活動法人などは、団体の當利の度合いについて財務状況等を見ながら判断していきたい。

意見 今後は、各種情報を収集され、費用対効果を考慮した上で、地球温暖化防止に向けて少しだけ努力ができるよう仕組みづくりを考えていきたい。

## 文教福祉委員会

◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・元気がある校区づくり推進補助事業について

問

説明 本事業は地域間交流を促し、元気でにぎわいのある地域づくりに取り組む校区の各事業に対し補助を行うもので、五つのモデル校区を選定し、補助総額は五百万元を予定している。

問 一校区百万円の補助金額の根拠及びモデル校区の選定方法について問う。

答 まず、補助金額については、昨年、二見校区において開催された収穫祭の事業実績・経費等を参考に決定したものである。また、校区の選定方法については、今後、校区から企画書等を提出いただき、選定したいと考

**問** 本事業の来年度以降の継続について問う。

**答**

今回の国からの交付金には、地域事業の喚起の意味合いとあわせて、地域の活性化を図るという趣旨も含まれている。現在、各校区とも新たなコミュニティづくりを目指して努力工夫をしながら各事業に取り組んでいたりしているが、今後は、本モデル事業をスタートさせ、このような地域活動の活発化に向けた施策として来年度以降も継続すべき事業であると位置づけている。来年度以降は、どの程度予算確保できるかという課題はあるものの、本事業の趣旨を踏まえ取り組んでいきたいと考えている。

**意見** 事業の趣旨については理解できるが、一方では、まちづくりをどう進めていくか、住民自治組織をどのように形成していくかが検討されている現状にある中、補助金を出せばいいということではなく、まちづくりや住民自治組織をどうやってつくり上げていくか、ということの整合性についても考えたい。

**意見** 今回、国の交付金による補助事業で、非常にいい事業をされていることは理解するが、

**説明** 本事業は、トマトの規格外品に付加価値をつけて販売することにより、農業所得の向上を図るとともに、はちべえトマトのブランド強化を図るために、農産物加工施設を設置し、トマト加工品の製造・販売・開発を行っているものである。

**問** 販売ルートの現況と拡大策について問う。

## ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・農業生産総合対策事業について

### 経済企業委員会

**意見** モデル校区数、補助金額を五校区、一律百万円とするのではなく、意欲がある校区に対しては補助を行っていた



**答** 現在、ドライトマトやトマトケチャップを加工・販売し、大手百貨店、地元直売所等へ出荷している。本施設では、ドライトマト、トマトピューレ、トマト果汁、トマトケチャップの四種類が製造予定されており、出荷先においても、百貨店、直売所に加え、地元企業や学校給食等も計画している。  
※参考数値  
・ドライトマト出荷量（三百五十キログラム）  
・トマトケチャップ出荷量（九百キログラム）

## ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・中小企業融資制度保証料特別補給金について

**問** 企業の年度末決算に伴い申請件数の増加が見込まれるところから、今年度五月までの、中小企業に対する融資制度の全体的な状況について問う。

**答** 本市の融資制度で、利用が高いものとして、経営安定特別融資制度と小口資金融資制度がある。経営安定特別融資制度の申請件数は平成十九年度五十八件から平成二十年度百三件と約二倍に増加している。その一方で、小口資金融資制度は平成十

九年度百八十件から平成二十年度百三十件と減少となつた。これは、市のセーフティネット認定を受けた場合、信用保証料全額百万円までは市が補助するとしている県の金融円滑化特別資金融資制度が、平成十九年度ゼロ件から平成二十年度三百六十六件と大幅に増加したのが要因である。また、今年度四月、五月の申請状況は月平均二、三十件程度で推移しており、過去二カ年と比較して若干多い状況である。

## ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第二号・移動式民間交番導入事業について

### 総務委員会

**問** 移動式民間交番の設置目的について問う。

**答** 非行少年グループによるシンナー吸引、喫煙、恐喝などの事件が多発しているが、移動式民間交番は、そのような犯罪の防止を目的として、防犯ボランティア団体に青色回転灯防犯パトロール車を貸与し、市内の犯罪多発地区や駅前などに定期的に配置し、パトロール活動の拠

点として活用するものであり、加えて、防犯ボランティア団体の方々には、児童生徒の登下校の時間帯を中心に、子供たちとのコミュニケーションづくりにも努めていただきたいと考えて

An illustration of a young girl with dark hair tied back, wearing a white shirt and a dark vest overalls. She has a stethoscope around her neck. Behind her is a stylized drawing of a house with a face, arms, and legs, appearing to be hugging or supporting her.

#### 移動式民間交番（イメージ）

**答** 当然、それらの権限はなく、あくまで協力していくということであり、犯罪を未然に防ぐ抑止力の効果を目的とするものである。

**問** 警察業務には検挙や逮捕などの権限があるが、民間交番には、どのような権限があるのか  
問う。

答　パトロール活動のほか、緊急時における被害者の一時保護や警察業務に係る案件、青少年とのコミュニケーションづくり、ボランティア団体との連携にも対応したいと考えている。

**問** 移動式民間交番としての具体的な活動内容について問う。

い  
る。

**説明**　国旗の掲揚状況について  
は、県内十三市のうち九市が、九州内の類似団体六市のうちでは五市が議場掲揚を行つており、その国旗掲揚を行つてゐる全市が、市旗についても同様に掲揚している。また、掲揚方法としては、現在掲揚してゐる市を見ると、四種類が見受けられる。  
・ポールに国旗を取りつけて、立てる方法

# 議会運営委員会

旗を掲揚することで圧迫感を感じるのでないか、今すぐ結論を出さず検討してみてはどうか。意見 今回、本陳情をこのまま継続審査にしてしまうと今期議会は任期満了となり、陳情は審議未了となってしまう。掲揚の方法については、今後検討すればいいことであり、まずは国旗掲揚について今期議会で決定すべきではないか。

そのとおりとなる。そこで「旗も加えて、国旗・市旗の掲揚を行つたほうがいいのではないか。」意見 国旗自体は国民のシンボルであり、否定するものではないが、本市議会議場は狭く、国

- ・国旗 자체를 펴고 걸리는 방법
- ・파란색으로 깃발을 벽에 고정하는 방법
- ・파란색 깃발을 벽에 걸는 방법

・ポールを横にして、国旗を下  
げろ。万々



永年勤続議員表彰

全国市議会議長会第八  
十五回総会において、永  
年勤続議員の表彰があ

り、本市では一名の議員が受賞されました。

A black and white portrait of Dr. James C. Chang, a man with glasses and a suit.

古倫美義圖議

※永年勤続表彰の在職年数について  
市町村合併により市制を施行した町  
村議員の勤続年数については、町村  
議会議員の職での勤続年数の二分の  
一を市議会議員の職での勤続年数に  
通算することができる。（全国市議  
会議長会表彰規程より）

# 請願・陳情について

市政に対する皆さんいろいろな要望は、請願または陳情として、いつでも市議会に提出することができます。

## 請願・陳情の提出

### ◆請願◆

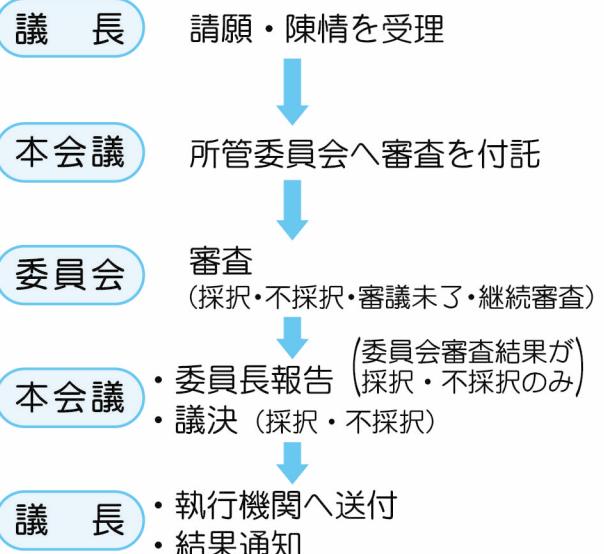
議会に対する請願書には、1名以上の紹介議員の自署または、記名押印が必要となってあります。受理された請願書は、本会議で所管の常任委員会に付託され、慎重に審議された後、本会議において採択・不採択を決定します。

### ◆陳情◆

陳情書の場合、議員の紹介は必要ありません。受理された陳情書は、請願と同様の取り扱いとなります。

※「請願・陳情」はいつでも提出できますが、当市議会では定期例会開会の翌日午後5時まで受理したもののは、その会期中に審議いたします。

## 審議の流れ



※なお、請願・陳情者への結果通知は、採択された場合のみ、郵送にて行います。

# 請陳願情

## 請願・陳情書の書き方〔例〕

### (表紙)

代表者 氏名 住所

紹介議員  
(自署または記名押印)

※陳情書は紹介議員不要

### (本文)

理由  
要旨

……に関する請願(陳情)書

平成〇年〇月〇日  
八代市議會議長  
○○○○様

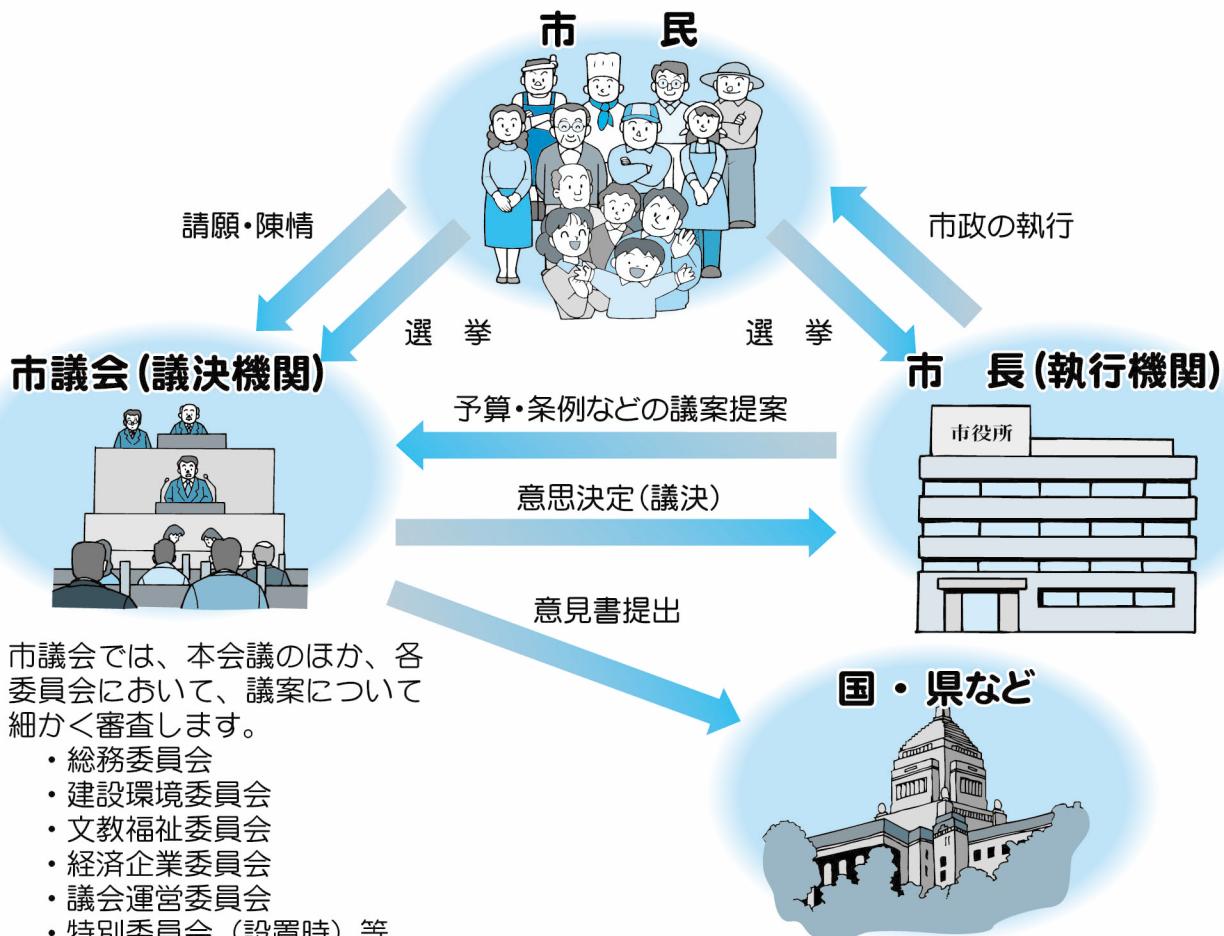


# ★市議会の役割★

市政を運営するためには、市の意思を決定し、市を代表して実施する機関が必要です。市の意思を決定する機関（議決機関）は市議会であり、また、市を代表して実施する機関（執行機関）は市長や教育委員会などです。

## 市議会の仕事の主なもの(地方自治法第96条)

- ①条例の制定・改正・廃止
- ②予算の議決
- ③決算の認定
- ④重要な契約や財産の取得または処分の承認などです。



八代市議会広報編集委員会  
委員長 中田竹村幸  
中田中田上村香代和誠光  
子美安也則会

盛夏の候、市民の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ今夏は選挙となります。六月定例会では、国の大型一次補正予算案の通過による大幅な景気対策が上程され、市政運営問題・インフルエンザ問題など、活発な質疑・一般質問が行われました。早いもので四年が経過し、合併後の「新八代市議会」の一期生としての「市議会だより」は今回の発行が最後となりました。

議会広報編集委員会では、読みやすく、わかりやすい議会報を基に、議会活動の多くの情報を伝えしたいとの思いで紙面をつくりましたと自負しておりますが、皆様の読後感はいかがだったでしょうか。

次号からは、改選後的新たなメンバーで、さらなる紙面の充実に努めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

編集後記

## 6月定例会審議結果一覧

\*請願・陳情で継続審査になったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第57号	平成21年度八代市一般会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第58号	平成21年度八代市介護保険特別会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第59号	専決処分の報告及びその承認について(平成20年度八代市一般会計補正予算・第10号)	6. 19	承認
"	議案第60号	専決処分の報告及びその承認について(八代市市税条例等の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第61号	専決処分の報告及びその承認について(八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第62号	専決処分の報告及びその承認について(八代市手数料条例の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第63号	専決処分の報告及びその承認について(平成21年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第1号)	6. 19	承認
"	議案第64号	専決処分の報告及びその承認について(平成21年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第1号)	6. 19	承認
"	議案第65号	国土利用計画(八代市計画)を定めることについて	6. 19	可決
"	議案第66号	八代市男女共同参画都市宣言について	6. 19	可決
"	議案第67号	八代市長等の給料の減額に関する条例の制定について	6. 19	原案可決
"	議案第68号	八代市都市公園条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第69号	八代市国民健康保険条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第70号	八代市立中学校設置条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第71号	八代市立学校体育施設等条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第72号	八代市公共施設の暴力団排除に関する条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第73号	八代市商工業振興基本条例の制定について	6. 19	原案可決
"	議案第74号	八代市働く婦人の家条例の一部改正について	6. 19	原案可決
"	議案第75号	専決処分の報告及びその承認について(八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第76号	専決処分の報告及びその承認について(八代市長等の給与に関する条例及び八代市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第77号	専決処分の報告及びその承認について(八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例)	6. 19	承認
"	議案第78号	平成21年度八代市一般会計補正予算・第2号	6. 19	原案可決
"	議案第79号	平成21年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第80号	平成21年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第2号	6. 19	原案可決
"	議案第81号	平成21年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第82号	平成21年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第83号	平成21年度八代市病院事業会計補正予算・第1号	6. 19	原案可決
"	議案第84号	人権擁護委員候補者の推薦について(三道篤麿氏)	6. 19	同意
"	議案第85号	人権擁護委員候補者の推薦について(上田優子氏)	6. 19	同意
陳情	第5号	八代市議会本会議場での国旗掲揚について	6. 19	採択
"	第7号	国民生活の「安心・安全」の確立を求め、地方の切り捨てに繋がる安易な地方分権・道州制に反対する意見書の提出方について	6. 19	不採択